

などブツブツ一杯。その内に要領を得たのか、「あった、あった」「さっき探したのに、こな所に有った」などの賑やかな声に変わった。はじめは恐る恐るの斜面も、何時の間にかスタスタと歩き回っていた。それぞれ、お土産籠に一杯の栗を拾い童心に返って楽しんだ。

箕面市で唯一残る美しい農村風景も、この景観を守ることは、容易なことでは無い。特に止々呂美は、高齢化が進み、秋祭りの地車も、子供から主婦まで動員しなければ、引けないのが実状です。地域外で働いている方も多く、農業を続けるにしても猪や鹿、猿の獣害も多発し、畑や栗園の周りに電気金網を張り。菊炭の生産も需要が激減し、原木の手入れもしなくなり、獣害も加わり山が荒れている。人知れず山の手入れや、田畑を守っている方々の努力に思いを寄せる秋の日だった。



まちなみウォッチング 第53回

小野原東 地区

2010.11.18

豊川から西国街道を辿り散策

ウォッチングコース

歩行距離 約 4.3Km

豊川 BS → モノレール豊川駅 → 箕川 → 荒内谷川 → 北の杜公園 → 南の杜公園 → 小野原南 3号公園 → 小野原南 1号公園 → 楠木正成ゆかりの井戸 → 小野原交差点



国道 171号線 豊川 BS を出発し、南へ箕川を渡ると西国街道に出る。左は豊川の集落を経て椿の本陣（郡山本陣）に到るが、西へ進み小野原へ向かう。緩い坂の先で、モノレール豊川駅に到着する。付近は万博公園から彩都へ到る府道が整備されているが、往時はとても寂しい村境の道だった。飛脚与兵衛が盗賊に襲われた場所も、この





付近と伝えられている。古文書には一里塚が在ったと記されている。

箕面市域に入り、箕川沿いの戸建て住宅地を過ぎ、荒内谷川（小野原西に在った仁鳥池から流れ出た農業用水路）を遡及する。左岸は比較的平坦だが、右岸は切り立った擁壁となり、その上に集合住宅が建っている。

北の杜公園から南へ緩やかに上る散策路には、彫像やモニュメントが建ち、沿道の住宅街は木々や草花が育てられ、さながらガーデンタウンである。



南の杜公園は、吹田、茨木市に接する千里丘陵の一角で、公園の清掃やサツキの手入れを住民が協力されている。公園の最高点からは、北摂の山並みが一望され、造成中の彩都地区が良く見える。



小野原南 3号公園から 1号公園への散策路も、素敵な道で樹木が植えられ、季節の移り変わりを身近に感じられる。道端の花壇や公園の手入れも地域ボランティアや豊川南小の児童が世話をしておられる。小野原・豊中線を潜るガード下には、豊川南小

の児童が描いたファンタジックな壁画が、海中へ誘って呉れる。

西国街道へ出て、東の常夜灯前の龍王堂脇、民家の敷地に井戸が在り、神戸湊川へ向かう楠木正成が、水を飲み休息したと伝えられている。江戸時代には付近に茶屋が在り、街道を往来する旅人が一息入れたとされている。

まちなみウォッチング 第54回

箕面・西小路 地域

2010.12.18

箕面の農業用水路を辿って探索

ウォッチングコース

歩行距離 約 2.3Km

箕面駅 → 一の橋 → 平尾集落（箕面 1丁目） → 本通り商店街 → 箕面団地横・

孝高地蔵 → 西小路公園 → 中央通り → 牧落 1丁目

滝道を遡及し一の橋から、川面を眺めると取水路が木々の間に見え隠れする。平尾、西小路、桜、牧落の4大字、通称「四大字（よんだいじ）」水利組合の灌漑用水の取水路（大井堰）です。箕面川の上流域に位置する箕面地区は、「ミズカミ」と呼ばれ、一目置かれていた。しかし箕面ダムの完成（昭和57年）までは、集中豪雨によって、堤防が決壊し死者を出す被害にしばしば逢った。

戦前は右岸から木製の樋を架けていたが、後にコンクリート製になった。滝道の下を用水路が通り、旧河鹿荘前の側溝で地表に出る。きぬがさ屋駐車場から、法林寺参道に沿って折れ、民家の裏を流れてる。かつて用水路の水を生活に使っていた名残の水場も見える。



さらに民家の裏を複雑な径路で流れ下る。

箕面街道中の坂の登り口に、分水樋が在り「大井堰水路は、大井堰から取水し、四ヶ村の農業生産を支えてきた重要な用水路です。ここは分水樋であり、古くは種籾をつける場として利用された」と説明されていた。

水路は真っ直ぐ南下し、本通り商店街（箕面街道）脇を流れる。かつては側溝であったが、現在は暗渠となった為、ミニ水路がメモリアリとして造られている。

りそな銀行前を渡り、フードコンパニオン横を暗渠で流れ、郵便局裏で水路が顔を出し、孝高地蔵前を流れる。会員の岡島さんの絵は、この付近が田畑に囲まれていた頃を描いている。

西小路公園横を過ぎると、僅かに田畑が残っている。農業用水路の本来の目的に相応しい風景が出現するが、多くは貸し農園で、一般市民が野菜などを作っている。

用水路は中央線を横断する。通常は地中管で横断するが、此处では金属の網蓋で覆われて、流れの具合が見える。ゴミなどに因る閉塞を容易に排除する為だろう。農業用水路の重要さ、農家の米作りに対する強い心を感じる。やがて牧落に残る田畑を潤すが、早くから住宅開発が行われただけに、水路の径路は判らなくなった。



まちなみパネル展アラカルト

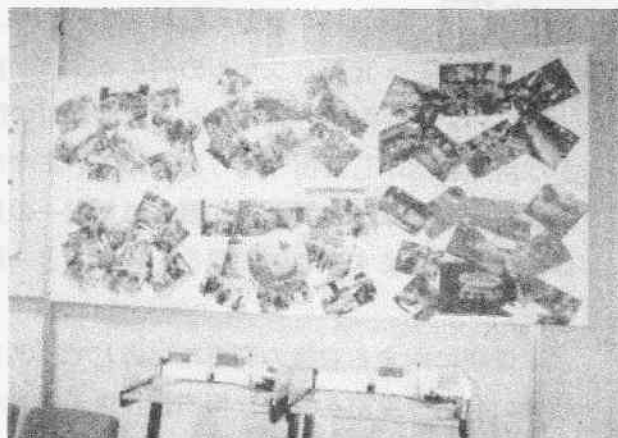
「第15回まちなみパネル展2011」を、メイプルホールにて、3月25日から4月3日まで開催した。6月11日～21日には、かやの中央の市民活動センター・ロビーにて、「続・まちなみパネル展」として開催、その後、これらのパネル展に出展したパネルの一部を、ご好意によりいろいろなところで展示を行っている。

萱野南図書館

萱野南図書館入り口のショウウインドウに、「箕面の祭」パネルを、7月1日～31日の1ヵ月間の展示を行いました。

池田泉州銀行箕面駅前支店

店内の掲示場所をお借りして、「箕面の祭」パネルを、9月12日～10月末までの1ヵ月半の展示を行いました。



りそな銀行箕面支店

7月より、店内ロビーにイーゼルを立ていただき、「箕面のまちなかのみどりを探して」パネル（もみじだより裏表紙に、1年間掲載した）を、月代りで、1年間展示していただくことになりました。



(事務局 片岡正彦)

★まちなみ会議活動記録★

- 7月 24日 定例会議、活動状況報告他、パネル展テーマ：“箕面のみどり”の具体的内容に付いて討論
- 8月 21日 定例会議、活動状況報告他、“箕面のみどり”の緑視率、緑被率に付いて市内各所の写真や衛星写真を見ながら意見交換
- 9月 17日 タウンウォッチング”坊島、白島の新旧住宅地の対比など、新御堂筋散策”
19日 NPO フェスタ 2011 に参加
25日 定例会議、活動状況報告他、緑視率に付いて他市の状況、文献、測定法について説明後意見交換
29日 タッキーたんけん隊”指定樹木を巡る旅 4”出演 今枝、片岡、岡島会員
- 10月 15日 タウンウォッチング”如意谷団地など、みどりに囲まれた集合住宅を散策”
16日 定例会議、前期会計報告他、緑視率の測定結果、問題点などの説明後討論
17日 箕面市シニア大学”西国街道について”講演
19日 市外タウンウォッチング”芦屋市の景観施策について”説明と現地見学
- 11月 19日 タウンウォッチング”止々呂美の古い集落を尋ねて”
20日 まちなみ通信・みのお 44号 止々呂美特集発行

後編 編集 記録集

・数日前から急に冷え込み、箕面も紅葉の季節に一気に入り、滝道も連日多くの方々を迎え賑わっています。

・箕面トンネルの向こう、止々呂美では、新名神高速、仮称箕面 IC の工事が開始されました。箕面森町の開発、止々呂美ふるさと自然館新設など、豊かな自然を活かした街づくりを進めています。余野川に沿った棚田と、周囲を巡る緑の山並が一体となった箕面市に残された唯一の景観を、次世代に継承する保全策を、箕面市は検討しています。この問題を、皆さんと一緒に考えて頂きたい、止々呂美特集としました。

・景観に対する意識の高まりに応じて、各自治体で施策が検討され施行されています。私達の会も芦屋市を尋ね、担当課長さんの話を伺い、市内の景観施策の実施例をご案内頂き、箕面市と異なった視点、考え方を実感しました。

・シリーズの”景観に配慮した色彩”では、彩都粟生南 2に、今月23日に開店する、ホームセンターを取り上げました。箕面市の山すそ景観保全策の適用第 1号となった為、工事に当たり慎重な検討がされました。”箕面を愛する活動”では、”地域のことは、地域で”をモットーに活動を続ける金平さんを紹介しました。”VIVA箕面”は、会員がお住まいの周辺の移り変わりを記して下さいました。

・まちなみ会議では、新しい会員を募集しております。皆さんと一緒に、タウンウォッチングして、箕面の良さを探しましょう。
(大町 凱彦)

発行：NPO みのお市民まちなみ会議 <http://minohmachinami.cocolog-nifty.com>

代表者：今枝章平 ☎ 562-0046 箕面市桜ヶ丘 3- 1- 1

TEL&FAX 072-722-3253

郵便振込口座番号 0920-9-133953

